

# 名詞修飾部構造の分類に対する新たな試み

陳上元（横浜国立大学大学院生）

## 1. はじめに

筆者の中国人留学生向け進学塾での5年間の日本語講師の経験の中で、特に日本語読解対策授業の際に、日本語長文における複雑な名詞修飾部の構造を理解しにくいという感想を生徒たちから多く聞く。よって、彼らの名詞修飾部に対する躓くところを解明するため、その構造を系統的に分類する必要があると考える。

## 2. 研究内容

木村（2007）は、日本語の名詞修飾構造を真性名詞修飾節と擬似名詞修飾節を分類している。真性名詞修飾節は、下の（1）のように被修飾部は「本」のような自立的な名詞に接続する節のことである。

- (1) 昨日書店で買った 本 は面白い。  
真性名詞修飾節      被修飾部

それに対し、擬似名詞修飾節は、下の（2）のように被修飾部は「こと」のような自立的な名詞以外の形式名詞に接続する節のことである。

- (2) チームワークを大切にして仕事をしていく こと 自体は日本の強みなのです。  
擬似名詞修飾節      被修飾部

従来の名詞修飾構造に関する研究では、真性名詞修飾節を中心に研究するのが主流である（寺村（1978）、大関（2010））。しかし、その2つの類型は（1）と（2）のように、文中においては、「名詞修飾部＋被修飾部」の構造で現れるため、1つの名詞修飾ブロック（真性名詞修飾節と擬似名詞修飾節の総称、以下同様）として捉えられると考える。

また、名詞修飾ブロック分類の研究については、被修飾部の機能（時間・条件・理由など）や、名詞修飾部と被修飾部の格関係（内の関係と外の関係など）を中心に進めてきた（齋藤（2005））。名詞修飾ブロックの構造に関する研究は筆者の管見の限り、まだ少ない。



に封筒をポストに入れようと思っていたのに」と主節「すっかり忘れてしまったというような」のように、従属節部と主節部が逆接関係となる。目的従属節は(7)の「エンジンをより甘くするために」のように従属節部はある目的を示し、主節はそれに応じて様々な動きが見えるパターンである。

## 類型 2

### ・多重名詞修飾構造

名詞修飾ブロックには、1つの被修飾部に対し、2つあるいは2つ以上の修飾部があるものを多重名詞修飾構造とする。

例えば、下の(8)に示したように、文の被修飾部「粒子」に対し、修飾部1「プランクトンのような」と修飾部2「小さな」2つの修飾部があるため、多重名詞修飾節構造となる。

(8) プランクトンのような 小さな 粒子 がたくさん水中に浮いていれば、  
修飾部 1                      修飾部 2      被修飾部  
光が乱反射され、水が濁って見えてしまうからだ。

## 類型 3

### ・連鎖名詞修飾構造

今泉(2003)に基づき、連鎖名詞修飾構造は、一つの名詞修飾ブロックに複数の被修飾部があり、また前にある名詞修飾ブロックが後の修飾節の一部になるという構造である。

例えば、(9)に示したように、名詞修飾ブロックに、被修飾部1「こと」、被修飾部2「の」、被修飾部3「機会」、この3つの被修飾部が存在し、しかも被修飾部1「こと」の修飾ブロック「対象をよく見ること」が被修飾部「の」の名詞修飾ブロック「対象をよく見ること」の一部になり、このように修飾部・被修飾部のセットとして連続的に繋がっているのが連鎖名詞修飾節構造となる。

(9) 絵を描くことは、対象をよく見る こと を学ぶ の にはよい 機会 だ。  
被修飾部 1                      被修飾部 2                      被修飾部 3

## 類型 4

### ・並列名詞修飾構造

本研究では、並列助詞「ト」「ヤ」「ニ」などの機能を考慮し、「タリ」「シ」「トカ」などと共に複数の並列節を含む名詞修飾ブロックを一つのまとまりとして並列名詞修飾構造とする。

例えば、(10) に示したように、名詞修飾部に並列助詞「ト」が繋ぐ、並列部 1「知識には直接役に立つもの」と並列部 2「間接的に役に立つもの」があるため、並列名詞修飾構造となる。

- (10) 体に余分な負担をかけたり、能力以上のことを要求されたりするような 登山 ならば、  
並列部 1 並列部 2 被修飾部  
登る前に計画を見直さなければならない。

#### 4. まとめと今後の課題

本研究では、日本語の名詞修飾ブロックを、連用従属名詞修飾構造、多重名詞修飾構造、連鎖名詞修飾構造と並列名詞修飾構造、この4つのタイプに分類した。しかし、日本語の名詞修飾ブロックを分析したところ、その構造には多様性があり、本研究で提案した4つの構造以外にも他の構造も存在すると考えられる。例えば、名詞修飾ブロックと被修飾部が形容詞、あるいは形容詞に近い機能を持つ文法（～ような）に繋ぐ構造も見られたため、今後さらなる構造分析が必要とされている。

#### 参考文献

- 今泉喜一(2003). 日本語構造伝達文法発展 A 揺籃社  
大関浩美(2010). 日本語学習者はどのような外の関係の名詞修飾節を使っているか 言語文化と日本語教育, 39, 50-59.  
齋藤浩美(2002). 連体修飾節の習得に関する研究動向 言語文化と日本語教育 2002年5月特集号, 45-69.  
史紀元(2017). 日本語複文の新たな分類の試み 九州共立大学紀要, 8, 31-36.  
寺村秀夫(1977). 連体修飾のシンタクスとその意味—その3— 日本語・日本文化, 6, 大阪外国語大学留学生別科(寺村秀夫(1992)261-296に再録)  
村木新次郎(2007). 日本語の節の類型 同志社女子大学 学術研究年報, 58, 9-17.